

令和4年度 学校自己評価システムシート (滑川町立月の輪小学校)

目指す学校像	子供が生き生きと活動し、保護者や地域から信頼される学校			達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
重点目標	1 確かな学力の確立	○日々の授業の充実	○学力と体力の向上		B	概ね達成 (6割以上)
	2 豊かな心と人権尊重の精神の育成	○人との関わりを豊かにし、思いやりの心を育む道德教育の推進			C	変化の兆し (4割以上)
	3 学校・家庭・地域との連携	○家庭・地域に見える教育の推進			D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 1 8 日 現 在)			実 施 日 令 和 5 年 1 月 3 1 日	
番	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 目 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	釐	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p>○授業規律は概ね身に付いており、落ち着いた授業態度である。</p> <p>○基礎・基本の定着は概ね身に付いている。</p> <p>▲各種調査結果から、自分の考えを書き、発表することが苦手である。</p> <p>▲下位層のボトムアップにつながる指導が必要である。</p> <p>○休み時間は、積極的に外に出て遊んでいる。</p> <p>▲肥満型の増加傾向が見られる。運動時に身体に使い方がうまくできていない様子が見られる。また、男子児童の体力の低下が心配される。</p>	学力の向上 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、問題解決的な授業や話し合い活動を積極的に取り入れ、授業改善を図る。 各調査の分析結果を授業改善に生かし、指導法を工夫し各層の学力向上を図る。 ICT機器の積極的な活用により、学習に対する意欲と定着を図る。 外遊びの推奨と体育授業で、補強運動やダッシュ等の運動を毎時間取り入れる。 家庭と連携し、健康管理を充実させ健康で安全な学校生活が送れるようにする。 家庭学習の充実を図り、学習の仕方や宿題の取組方等を伝え、協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関するアンケートで「授業がわかる」「学習の仕方がわかる」の項目を95%以上にする。 基礎的基本的な事項の定着度を見る評価テストで平均90点以上を85%以上にする。 来年度の新体力テストの結果の総合評価(A+B+C)を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の研究やICT活用で、授業や学習の仕方がわかるについて「当てはまる」「だいたい当てはまる」が児童・保護者ともに95%となった。 学力学習状況調査では、学年による特性が見られるものの全体的に、伸びが見られている。基礎基本の知識面での正答率が高いが、思考・判断・表現力を問われる問題(記述式等)の正答率が低い。 感染状況で取組が十分行えなかった。80%を超えたのは低学年のみで、全学年平均は75%となり目標を下回った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学力に関しては、学年差違はあるものの、全体として中・下位層の伸び悩んでいる児童を伸ばすことが必要である。 自分の考えを書く等、思考・判断・表現力を重視した指導が必要である。 学年差違はあるものの、体力向上は大きな課題である。体育の授業だけでなく、外遊びを励行し日常生活で身体を動かす機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学での伸びを考えると、小学校で基本となるの素地を身に付けているのではないかと。 どのクラスにおいても授業に集中して取り組んでいる。 教職員アンケートから教育課程での課題があるとみられる。 課題と感じている職員の少数意見もしっかりと取り上げ改善に向けての必要がある。 体力向上のために、具体策を検討するとよい。 学力の伸びをみると、中位層害の児童の伸び率を上げる手立てが必要である。
2	<p>○道德の授業は指導計画に沿って実施されている。全教育活動を通して道徳的な指導を実践することで道徳性は身に付いてきている。</p> <p>○登校班や縦割り活動では、高学年が低学年の面倒をよく見ている。</p> <p>○全体で揃っての挨拶は、概ねできている。</p> <p>▲校内では挨拶ができて、地域の人への挨拶ができない児童が多い。</p> <p>▲児童の道徳性や道徳的実践には、個人差が見られる。また、様々な理由から突発的に登校を渋るケースも見られた。</p>	豊かな心の育成 規律ある態度の育成 (場に応じたあいさつ・返事)	<ul style="list-style-type: none"> 考え議論する「道徳」の授業を目指した授業改善を図り、児童の道徳性や道徳的実践力を高めるよう努める。 授業参観での道徳授業の公開と生活アンケートの学期毎に実施する。 縦割り活動の充実を図り、リーダーとしての自覚を持たせ育成する。 学級活動や道徳の授業で挨拶や返事の仕方などを具体的に指導する。 全ての教育活動に於いて、挨拶の実践に心がけ、指導・評価に努める。 家庭との連携を図り、学校、家庭それぞれの役割を確認し、足並みを揃えて児童の健やかな成長を育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートで豊かな心や規律ある態度に関する項目において、達成率を85%以上にする。 学校評価に関わるアンケート「挨拶」の項目で児童・保護者の達成率を85%以上にする。 全学年で、不登校児童を0にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律は、学期を追うごとに良くなっている。学校評価アンケートでは、規律に関しては児童・保護者ともに90%を超える回答を得た。「命の大切さ」については、児童85%、保護者92%と、目標は超えた。 縦割り遠足やなかよしタイムが天候や感染状況の影響で異学年間活動の機会が減少する中、6年生の意識は高く保てた。 「挨拶」に関する項目では、児童と保護者の認識に大きく差が出た。 現段階で、長欠児童1名。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童の人権意識を高めるには、教職員の人権感覚を磨くことが重要だと考える。今後も研修等を充実させたい。 学習規律は、概ね良くできている。挨拶については、校内でできても、地域ではできない。学校と家庭との領域を踏まえ、それぞれの場で、協力することで、改善していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月当初に比べ、朝の挨拶は良くなってきている。班長がしっかり挨拶できる班は、班員に影響してよくなっている。 昨今の状況から、地域の人とはいえ面識のない人への挨拶は難しく、学校で指導する挨拶の対象と、家庭での指導とを分けて考えてもよいのではないかと。 児童数からみて、不登校の数が少なく学校の取組の成果を感じる。登校渋りについては、家庭環境も踏まえ丁寧な指導を行ってほしい。
3	<p>○学校・学年日より、保健日より等により、保護者・地域に学校の教育活動の情報を定期的に提供している。</p> <p>○学級通信を発行しクラスの様子を伝えているクラスもある。</p> <p>○学校メールは全家庭が登録し、緊急時の連絡が迅速に伝えられている。</p> <p>○感染対策を講じながら地域交流の再開を増加する。</p> <p>▲アンケートや保護者の声からは、学校に対して様々な意見が窺える。</p>	開かれた学校づくり (家庭・地域に見える取組)	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を講じ、授業参観等を学期1回実施すると共に、学校日より、学年日より等を定期的に発行し、学校の教育活動を積極的に発信していく。 感染対策を講じながら学校行事を公開し児童の活動の様子を参観していただく。 PTA行事等が制限される中、積極的に家庭との連携を図り、協力態勢を構築する。 保護者の意見には傾聴し、迅速な対応、保護者や児童に寄り添った指導を行う。 学校HPの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関わるアンケートで積極的に「情報公開している」「PTA活動等に取り組んでいる」の項目の90%を維持する。 学校公開や授業参観等の参加率を全体の90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートで、PTA活動については、91%、情報公開については、90%、安全確保については、95%と、目標を達成することができた。 感染や予防に対する理解も深まり、全体で行える機会を増やせた。授業参観や運動会等行事での参加率は、概ね目標達成をすることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況が見通せない中で、運動会や授業参観・懇談会等、徐々に全体で行う機会を増やすことができた。感染に対する対応も社会全体で確立しつつあるので、さらに学校に来て、学校活動を直接見てもらえる機会を増やしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標に対してアンケート結果より十分達成していると考えられる。 学校の役割、家庭の役割、それぞれの立場で指導していくとよい。

○印：成果と思われること ▲印：課題と思われること